



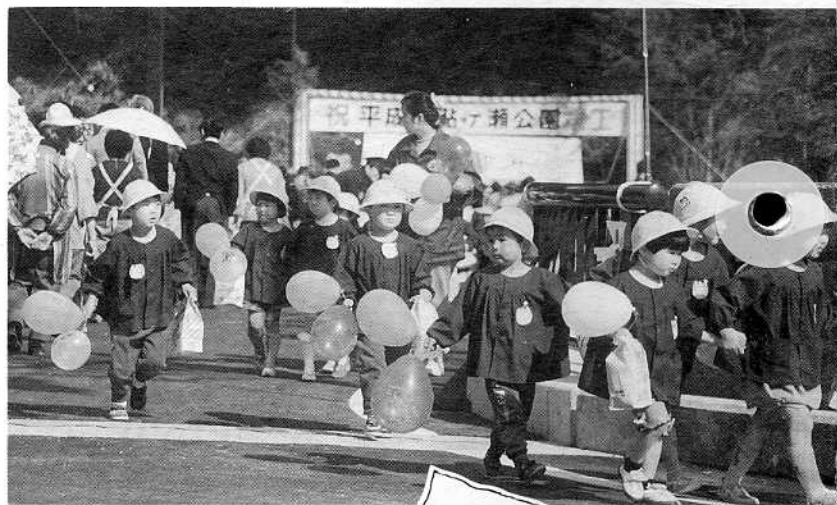
“明日に架ける橋、開通

平成橋、鮎ヶ瀬公園が竣工！

この日の主役は、平の中丸今二さん・とめさんご夫妻、清彦さん、房子さんご夫妻、英司さん・美香さんご夫妻。三代合わせて324歳。

渡り初めてのひとコマでした。

(関連記事8ページに掲載)



神土保育園児も渡り初め

広報

1994 5 No.395  
平成6年

ひがししらかわ

人口の動き

—4月末住民登録人口から—

|     |        |
|-----|--------|
| 世帯数 | 906世帯  |
| 人口  | 3,414人 |
| 転入  | 18人    |
| 転出  | 16人    |
| 出生  | 0人     |
| 死亡  | 6人     |

先月と比較して4人減  
昨年の同月と比較して22人減

# 新庁舎を初公開

業として行われ  
と役場新庁舎の  
月1日から3日



## 三日間で約八〇〇人が 両施設を見学

昨年、平成五年度は、村の長い歴史に新たな一ページを加える二つの大きな事業が行われた年でした。その一つは、平成三年度から三か年の継続で進められた「こもれびの里構想」の最終施設となる文化施設「はなのき会館」の建設。もう一つは、村が始まって以来、百年余の歴史の中で初めての経験となる役場庁舎の新築工事です。

両施設とも三月中に完成しましたが、備品の購入や外構工事などが四月以降に行われたため、みなさんへの「おひろめ」は、五月になったものです。

両施設の内覧会が行われた五月一日～三日というのは、ゴールデンウィークの真つただ中。村民の皆さんのみならず、休暇を利用して帰郷している村出身の皆さんやつちのこイベントに参加した皆さんが帰りがけに寄られるなど、三日間で八〇〇人を超える皆さんが見学。特に最終日の三日には、四〇〇人を超える人が訪れ、説明係の役場職員もてんでこ舞い。ちよつとした観光地もびつくりするような大ライブーとなりました。

## はなのき会館では ハイビジョン放映

「これからここでどんな活動が行われるかと考えただけでワクワクします。今までに村には無かったすばらしい施設ですね」といった声が、内覧会に訪れた皆さんのあちこちから聞こえてきたはなのき会館。

訪れた皆さんは、一様に、大ホール、楽屋兼研修室などはもちろん、ふだんはあまり見ることができないステージの上や機械室、照明機材など隅々までくまなく見学。ホールでは固定席に腰を下ろして、「いいイスが使ってありますねえ」と細かな部分まで入念にチェック。中にはカメラ持参で記念撮影をして帰る人の姿も見られるなど、はなのき会館の出来ばえに対する評価は上々だったようでした。



固定席は座り心地もよさそう

特に二日目と三日目には午前十時から午後三時までの間、七十五インチという大画面が作り出す映像の世界「ハイビジョン放映」を楽屋兼研修室で実施。ルノアル、モネーといった印象派の巨匠たちの名画の映像や美しい海底の映像などを上映。こちらの方も訪れた皆さんに大評判でした。

これまで行われないわゆる「文化的行事」、例えば文化講演会、郷土歌舞伎などは、全て体育館など仮設会場で



苅田 南子さん (曲坂)  
大坪 宏子さん  
安江 恵美さん (日向)

天井が広いせいかホール全体がすごく広く、明るく感じます。座った感じも疲れにくそうな感じですね。



苅田 丑夫さん  
とめのさん (平)

観劇などが好きで方々のホールを見ますが、はなのき会館は素晴らしいと思います。舞台が広いこともいいですね。



笹俣 良昭さん (日向)

音楽ホールとして大いに期待しています。しつかりした作りで、「生演奏」を実際に聞いてみたいですね。

こと  
ビュー

# はなのき会館と

平成5年度事業  
たはなのき会館  
完成内覧会が5  
日間行われました



行ってきました。

本格的文化施設ははなのき会館は、わたしたちが待ち望んでいた、まさに待望の施設。今後の利用が本当に楽しみになってきました。

## 注目は、広いつらアと

### 三階議場

新庁舎で最も注目を浴びたのは、三階の議員さんのスペースでしょう。中でも議場は、これまでの役場には無かったスペースということもあって、訪れた皆さんは、議員席に腰を据え、「テレビで見る国会議事堂のミニチュア版やね」とのご感想。

また、一階のフロアも好評。「白色で統一されて清潔な感じがします」、「カウンターに木が生かされているのは落ちついた感じ」といった話が聞かれました。中には、「美しさを保つていくのはご苦労ですね」との声が聞かれるなど新しい村の「顔」となる新庁舎への関心はかなり高いものを感じられました。

## 両施設の竣工式 は六月十五日

まさに来るべき二十一世紀に向けて心強くなるような両施設の完成ですが、この施設の完成を祝う



立派な議場になったな

竣工式は、六月十五日(水)に両施設同時に行います。この竣工式の際には、「朴葉ずしコンテスト」が行われます。詳しい内容については、チラシ等を配布しますが、皆さんもお宅の自慢の朴葉ずし、ユニークな朴葉ずしをどしどしご応募下さい。

また、はなのき会館の「こけら落とし公演」は六月十九日漫才コンビ「大助・花子」を迎え行われます。

## 竣工式より一足お先に事務開始

両施設の内覧会が無事終了した五月七日、八日の両日、新庁舎への引っ越しが職員の手によって行われ、翌九日からは、いよいよ新庁舎での業務がスタートしました。

九日は、午前八時三十分の通常業務に支障が無いようにと職員がいつもより三十分早く登庁。

午前八時から村議会議員の皆さん役場職員ほか、関係者などが見守る中で、「庁舎開庁式」が厳かに行われました。

式典では、神事に続きテープカットも行われ、終了後、職員は各部署へと就き、業務開始となりました。

一〇〇年に一度という大事業となった庁舎建設。構えだけが立派で中身が伴わなければ意味がありません。

明るい窓口



一番の願いは、村民の皆さんが村外でも自慢していただけのような、親しんでいただけの庁舎を作っていくことなのです。

内覧会に何かの都合で来ることができなかった皆さんもどうぞお気軽にお立ち寄りください。

〈東京、東白川クラブ〉  
安江富士夫さん  
(陰地出身)  
藤原 福夫さん  
(平出身)



特に議場は素晴らしくなったと思います。全体的に村民が親しみやすい作りになっているのではないのでしょうか。

ひと  
インタ



結果は、今年も幻？ 五月三日

四五〇人が参加した、つち

のこ搜索大作戦の模様

を報告します。

# 報告

## 捕獲戦

## のこ搜索

# ぬ!

### 新企画 ローラー作戦

朝からどんよりとした雲に覆われ、天候が心配され、十班に分かれて出発するころには、さわやかな快晴となつて…

五月三日、親田農村公園をメイン会場として実施された「つちのこ搜索大作戦」。今回で実に六回を数え、すっかり定着したこのイベント。今年の搜索隊も実に四五〇人を数えました。今回は特に「ローラー作戦」と銘打って参加者を広く村外へと募集。中に

は、遠く東京からといる人もあるなどその成果は、参加者数が物語っています。

イベントの模様をお伝えする前にこの「ローラー作戦」とは何ぞやとおっしゃる皆さんのために簡単な説明をしましょう。「ローラー」というのは地ならしに使う機械。つまりローラー作戦というのは、ローラーをかけるようにもれなく徹底的に行うというものです。

今年のつちのこ搜索は、これまでに親田地内でも特に目撃談の多かった地区二鈴を四方八方から、正確にいえば十班編成ですから十方から、しらみつぶしに搜す作戦でした。

各班に分かれた参加者たちは、手に手におなじみの捕獲棒を持って、いざ出陣。中には、一晩寝ずに考えたという自慢の秘密兵器を手に「必ずや成果を挙げてみせます」と自信たっぷり話してくれた、東京から参加の国際基督教大学探険部の四人組（溝部さん、高橋さん、杉田さん、内藤さん）など入念に作戦を考えた参加者の姿もありました。



おそろおそろ草をかきわけて

結果は…

山菜・ムムシ…

搜索時間は、二時間。

十方向から一斉に山へ入った参加者たち、その様子を見てみると、真剣なまなざしで、こわごわやぶの中や茶の木を棒でつつついている姿は子どもたちの方が多くいます。お父さんやお母さんたちはといえは、もっぱら山菜採りにご執心。

各班とも親田地区の有志の皆さんによる案内係がおともしましたが、もっぱら聞かれた質問は、「これは、食べられます



国際基督教大学のみなさん

か”といったような山菜の説明会に  
終始していたようでした。

午後〇時ころになると、捜索隊の  
一行は、メイン会場へと帰還。この

日の会場には、ふる  
さと企画を始め、有  
志の皆さんなどによ  
るバザー九店舗が所  
狭しと立ち並び、新  
発売の“つちのこ五  
平餅”や好評の山菜  
天ぷらなど、山村な  
らではのおもてなし  
は大評判でした。

安江計幸捜索隊長  
からの結果発表が始  
まるとステージに注目。収穫は、一番

多かったのが山菜、つちのこの皮？  
と騒がれたビニール、何かを飲みこん  
でいたか、少々太めのマムシ一匹。、  
今年も幻で終わりました。

## 夢を、ロマンを

### 追い続けたい

今年のイベントのもう一つの目玉  
は、午後からのゲーム大会。“勝ち  
抜き尻相撲”など子どもから大人ま  
で、男でも女でも誰でも気軽に参加  
ができ、しかも賞品には新鮮な竹の  
子などが用意され、都会から参加し  
た皆さんにとっては、かつこうなお  
土産となるものばかり。新企画のゲ  
ーム大会も人気の方は上々でした。  
また、参加券に記入された、番号



好評も「つちのこ」商品つちのこ祖元

の抽選会、“ラッキー抽選会”では、  
純国産米二〇や白川茶一年分など豪  
華な景品が当たるとあって、途中に帰  
られる人の姿もほとんどなく、最後の

最後まで盛り上がったイベン  
トとなりました。

このつちのこ捜索イベント  
が始まって六年。“日本一目  
撃者の多い村”としてその存  
在を信じ、夢を求め、たくさ  
んの人が村を訪れています。

“第一回から欠かさず来て  
います”と話してくれた人、  
“見つかるまでは毎年来ます”

と話す人。国際基督教大学  
の学生さんたちは“今回は初

めてだから現場調査。次回は時間をか  
けてじっくり捜したい”と語ってくれ  
ました。こうしたロマンを追い求める  
“つちのこファン”がいる限り、この  
イベントの灯は燃え続けるのではない  
でしょうか。



“勝ち抜き尻相撲”に入った熱が思わず

# 簡易水道の“心臓部”が完成!

平成四年から本格的に工事がスタ  
ートした東白川村簡易水道事業。二  
年目となる昨年の工事の進み具合を  
簡単に紹介しましょう。

五年度の最大の“目玉”となった  
のは、人の身体に例えるな  
らば“心臓”の働きをつか  
さざる浄水場施設の姿が整  
ったことです。

浄水場管理棟の建物は、  
一昨年に完成しましたが、  
その内部に電気計装機器が  
組み込まれ、さらに取水場  
から原水が送られてくる導  
水管、また、裏手には高区  
配水池も完成しました。

取水場から送られてきた原水は、  
この浄水場の前処理機やろ過池の働  
きで清潔な水にされ、さらに消毒す  
ることによって安全な水へと変えら  
れます。こうしてできた水は配水池  
へと送られ、配水池から配水管を通  
って各家庭へ届けられます。

管理棟内の電気計装機器は、取水  
場からの流入状況やろ過池の稼働、  
配水池への流入、消毒の調整等を全  
て自動で行うしくみとなっています。  
配水池の働きは、浄水場から送ら  
れてきた水を分配し、各家庭へ送り



小峠配水池

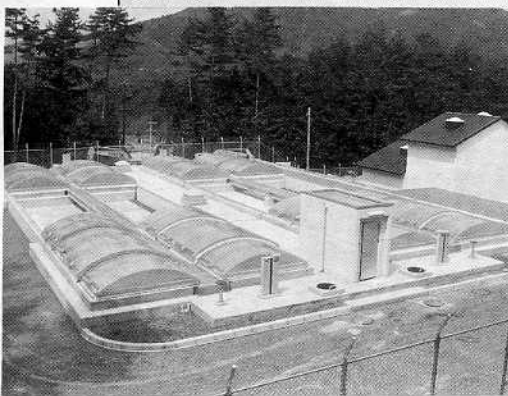
出すいわば中継所です。この配水池  
は十か所ほど作られる予定ですが、  
昨年は二つの配水池が作られました。  
高区配水池は、配水池の中でも最大  
級のものです。ここから大明神の低い所

へは直接、高い所と親田地  
区へはさらに小峠配水池を  
中継し分配されます。

また、昨年は“血管”と  
もいえる配水管工事も大明  
神、黒淵の一部など合計約  
八にわたり行われました。  
“心臓”の完成により今  
後は“血管”の工事が急ピ  
ツチで進められます。

こうした水道の諸施設は、国や県  
からの補助金のほか国民年金保険料  
の積立金還元融資(借入金)を利用  
しています。

大明神浄水場



# おしらせ

## こんにちは 社協です

自立援助のため、また、介護者援助のため、社協では、ベッド、床ずれ防止用マット、車椅子をお貸ししています。

起き上がる時に援助の必要な方、床ずれが出来かけた方、足の不自由な方など、介護する方、される方にとって快適な毎日を通り越していただくために、これらの福祉器具をご利用下さい。

## 仕事と工賃

### 家内労働手帳で確認を

内職の委託者は、内職者に仕事を頼むときには、工賃の支払方法など委託条件を明確にした「家内労働手帳」（伝票式のものでよい）を渡し、仕事の内容、工賃の単価、工賃支払日、受け取った品物の数量、支払工賃額等をきちんと記入しなければなりません。内職をする人は忘れずに家内労働手帳をもらいましょう。もし、工賃の支払が遅れたり、払ってもらえない場合、金額等がはっきりしないと問題の解決が難しくなります。このような争いを避けるため、必ず家内労働手帳をもらい、記入された内容をよく確認し大切に保存しましょう。

労働省では、全国一斉に五月二十一日から三十一日まで「家内労働旬間」として、内職に関する施策を重点的にすすめます。

内職の委託条件などのお問い合わせやご相談は、岐阜労働基準局（☎〇五八二（四五）八一〇一）または最寄りの労働基準監督署へどうぞ。

## 河川の水質事故防止に

### ご協力を！

工場などからの油・薬品の流出、不法投棄により、河川で魚が死ぬなど、さまざまな事故が起こっています。

河川の水質事故を防止するため、次のことに注意して下さい。

- ① 重油のポンプ、防油堤などに異常がないかを点検し、十分管理を行う。
  - ② 薬品の取り扱い、処理施設管理などは担当者に任せる。
  - ③ 洗剤の原液、廃油などを河川に捨てない。
- また、このような事故を発生したときは、速やかに役場までご連絡下さい。

## 学卒求人説明会が

### 開催されます

平成七年三月新規学校卒業生にかかる求人説明会を次のとおり開催します。採用計画

のある企業のみなさんは是非ご参加下さい。

【日時】六月八日（水）

午後一時三十分

【場所】美濃加茂市文化会館  
詳しくは、美濃加茂公共職業安定所 学卒係（☎〇五七四（二五）二一七八）まで。

## 春の行政相談週間

5/22～5/28

五月二十二日から「春の行政相談週間」が始まります。

これは、行政相談・行政相談委員制度をより多くの人々に知ってもらい利用していただくために、総務庁が毎年実施しているものです。

みなさんの身の回りで「役所の窓口案内が分かりにくい」「分かりづらい道路標識を改善してほしい」「年金について分からないところがある」といったことはありませんか。

行政相談では、こういったみなさんの身近な問題を受け付けています。さらに、国や特殊法人（JRやNTTなど）の仕事、県や村が国から委任

されたり、補助金を受けて行ったりしている仕事についての苦情や意見・要望もお聞きします。

みなさんの相談は総務庁長官から委嘱を受けた行政相談員が受付を行い、みなさんに代わって行政とのパイプ役を行ってまいります。

村の行政相談員は金尾竹雄さん（陰地）です。

行政相談員は、毎月定期的に相談所を開設するほか、自宅（☎（八）二五三二・有線三三七三）でも皆さんからの苦情や意見、要望を受け付けています。

相談は口頭や電話、手紙などどんな方法でもかまいません。相談は無料で秘密は厳守されます。安心してご利用下さい。



# けいじばん

【戸籍】 (敬称略)

●いつまでもおしあわせに

- 玉置 一裕 (小牧市)
- 今井早百合 (大口)
- 青木 成二 (岐阜市)
- 安江 圭子 (下親田)

●おくやみ申し上げます

- 村雲 利市 90歳 (柏本)
- 桂川富次郎 89歳 (黒淵)
- 安江 かつ 79歳 (加舎尾)
- 古田すぎの 78歳 (上親田)
- 村雲 正吉 71歳 (中通)
- 河田 小糸 90歳 (西洞)

【善意】 (敬称略)

- 【庁舎建設 (モニュメント) 指定寄付】  
現金 200 万円＝古田重一 (柏本)
- 【はなのき会館建設 (館名碑) 指定寄付】  
現金 100 万円＝古田重一 (柏本)
- 【社会福祉協議会へ】  
現金 1,250 円＝東白川村婦人会 (牛乳パック回収代金)
- 現金 20万円＝村雲 行雄 (柏本)
- 現金 20万円＝安江 主 (多治見市)
- 現金 20万円＝河田 幸雄 (西洞)
- 現金 1万円＝安江 昭子 (白川町佐見)
- 【東白川小学校へ】  
かぶと虫幼虫＝村雲康彦 (大口)
- ぞうきん30枚＝五加婦人会
- 造花カーネーション170個＝東白川村母子寡婦福祉会
- 【神土保育園へ】  
ステンレスランチ皿20枚＝稲垣民子 (陰地)
- わらぞうり50足＝古田かつの (上親田)
- わらぞうり60足＝田口貞造 (中通)
- 節句かざり、かぶと＝小池清 (中谷)
- 【五加保育園へ】  
ぞうきん15枚＝五加婦人会
- 絵本118冊＝今井 豊店 (大沢)
- 絵本22 冊＝古田材木店 (柏本)
- 絵本 3冊・色紙3セット＝安江建材 (柏本)

《おわびと訂正》  
4月号、けいじばん【善意】のコーナーで「レクチャーアップ」は東白川小学校→中学校、満1歳コーナーで安江千佳子→千佐子の誤りでした。訂正しおわびします。

## 保健婦だより

現代人の大敵といえはストレスと運動不足。効果的な入浴で一日の疲れをとり、心身ともにリフレッシュ。精神的疲労には40℃前後のぬるめの湯にゆつくりと。就寝前に入浴するのがベター。

## 第三回「花の都ぎふ」花かざりコンクール募集

県では、二十一世紀を「日本一美しい岐阜県」で迎えることを目指して、県民総参加で「花の都ぎふ」運動を推進しています。

この運動の一環として、県と(財)花の都ぎふ推進センターが主催となって、「花の都ぎふ」花かざりコンクールを実施します。

県内の町や村を花で美しく飾り、潤いのある生活環境をつくらせている市町村、個人、団体、企業を広く募集します

ので、みなさんの参加をお待ちしています。

【応募対象】庭、垣根、壁面、花壇、道路、公共施設、農用地などを花で飾り、快適な環境づくりと景観の美化が図られている建物、施設、地域などが対象です。

なお部門は、市町村部門、個人部門、団体部門、企業部門(店舗の一部・一般の部)の四つに分かれます。

【参加申し込み】  
・参加資格：本人はもちろん第三者の推薦でも結構です。  
・応募方法：応募用紙を役場林務商工課で取り扱いますの

## 海外開発青年を募集します

で申し込んでください。  
・応募締切：六月二十日まで。  
※十月下旬に表彰式を行う予定です。

中南米の日系社会で自分の技術を生かし公益機関、または民間団体を支援する活動にあたる青年を募集しています。

【活動期間】三年  
【派遣国】ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア、ドミニカ、メキシコ  
【説明会】日時：六月六日(月)午後六時三十分から

## 工事入札の結果

①は入札期日②は落札金額及び業者  
▼庁舎建設外構工事  
①四月七日②四百八十四万一千円、新田建設

場所：岐阜商工会議所(岐阜市神田町二二二)  
【主催者】国際協力事業団 東海支部 ☎〇五二(二二二) 七一〇四  
【照会先】県庁青少年国際課 国際協力係 ☎〇五八二(七二二) 一一一一 内線二一六七

# TOPICS

## 開 花

四月にササユリ…?  
パイオの力で大成功

「ササユリ」といえば、六月ころから山々を美しく彩る花ですが、このササユリがなんと四月中に咲きました。

花を見事咲かせたのは、カーネーション団地昭幸園の栗本重秋さん（柏本）。

パイオテクノロジーの技術を駆使し、ササユリの芽の成長点を培養して「無病苗」を作って育てたものです。

これまでいろいろなところで同じような試みがなされていたようですが、無病苗が開花するまでには、少くとも五、六年がかかったとか。

栗本さんのササユリは、苗を植えてから二年目に開花。しかも四月中に咲くといった例はこれまでに無く、おそらく岐阜県初の快挙とのこと。

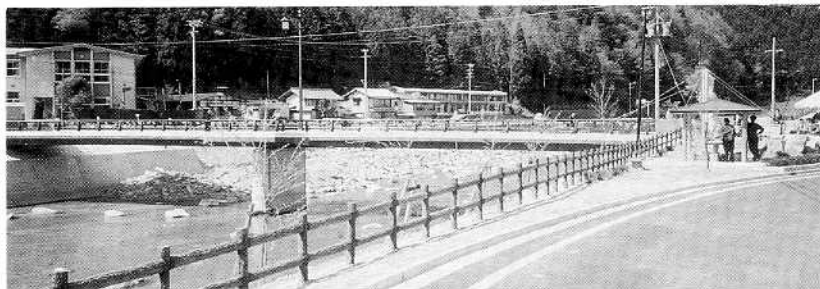
「ササユリは直射日光に弱いので、ハウスの中のカーネーションのすき間に植えました。土の状態が良かったからかもしれないですね」と栗本さん。まさにこの熱心な探究心がもたらした結果ではないでしょうか。



一番最初の開花は4/20

## 完 成

春風にさそわれて  
散策してみてもは…



平成三年度から三年の継続で行われた平成橋と昨年度整備された鮎ヶ瀬公園の竣工式が、去る四月十九日、来賓、平地区のみならずなど百五十人を超える方々が参加して盛大に行われました。式典では、テープカットや渡り初めなど一連の行事に続いて、この日を記念した稚鮎の放流と桜の植樹を実施。式典に花を添えました。

橋長が五・二・四の平成橋は、老朽化によりこの二月に落とされた沢尻橋に代わるもの。橋にはアンテナなガス灯を思わせる照明灯や中央部にはバルコニーもあり、白川の景観にはぴったりの作りです。

国の「美しい村づくり事業」で整備された鮎ヶ瀬公園には、川岸で一休みするに打って付けの東屋に芝生を敷き詰めた緑地、さらには平の街並が一望できる標高三九七・五の展望台があります。またこの公園の管理については、鮎ヶ瀬公園運営委員会が委託を受け行います。みなさんも散策に出掛けてはいかがでしょう。

## 表 彰

村の取り組みに  
二つの大きな評価

このほど村と村の土地改良区では、二つの大きな表彰を受けました。

土地改良区神土東第一工区では、「農用地集約化優良地区表彰」として農林水産大臣表彰を受賞。この表彰は、昭和三〇年から実施されているもので、農地の集約化による作業効率のアップや地域活性化の実績をあげた地区に対して贈られるものです。

今回受賞をしたのは、東白川村を含め、全国で七地区。もちろん村では、初めての快挙です。また、村では、これまでに行ってきたほ場整備に始まる生産組織の確立などの取り組みが評価を受け、「全国農業構造改善協会会長表彰」を受賞。まさに二重の喜びとなりました。

昭和五十六年スタートしたほ場整備事業は、



農林水産大臣表彰を受ける村長

私たちの生活環境を一変させたことはもちろんですが、就業形態をも大きく変化した。こうした取り組みに対する住民の皆さんのご理解とご協力が今回のような大きな評価へとつながったのです。



# 話題集まれ!

## 発表

紹介します素敵な二人  
ミス白川茶コンテスト

「白川茶を美しくPR!」

白川茶農業協同組合連合会(新田義貴会長)が主催し、昭和六十三年実施されている「第三回ミス白川茶コンテスト」の結果発表が、去る四月二十五日、白川茶連合会の席上行われ、村からミス白川茶に安江比奈子さん(役場勤務・陰地)、準ミス白川茶に安江里枝子さん(JAみのかも東白川支店勤務・大明神)のお二人が選ばれました。

コンテストは、県内外から三十三人が応募。その内ミス一人、準ミス二人というまさに「狭き門」の中で栄冠を勝ちとったものです。

ミス白川茶の任期は三年。これからは、「白川茶を全国にPRするための「顔」としてJR高山線での新茶サービスや各種イベントなどへ花を添えることとなります。

お二人とも現在二十一歳。フレッシュな活躍が期待されます。



安江里枝子さん(左)安江比奈子さん(中央)

## 登山

やっぱり自然は厳しかった?  
小学校寒陽気山を踏破



表情は真剣そのもの

「ゴールデンウィーク何が一番楽しかった?」と小学生に尋ねれば、「全校登山」と答えるのではないのでしょうか。

四月二十八日に予定されていた小学校恒例の全校登山ですが、あいにくの雨:「水入り」となってしまう、五月二日まで待たされての登山となりました。

今年登ったのは、村で二番目の高さ誇る一〇八坪の寒陽気山。小学校での全校登山は、昭和六十一年から毎年行われており、捨難山、手掛岩山、寒陽気山、尾城山、新巢山、無反山という六つの一千坪級の山々を六年間で踏破しようというものです。

長袖に長ズボン、背中にはリュックサックという出で立ちで参加した父兄の皆さんとともに元気よく出発した子どもたち。「みんな外で食べるおにぎりは最高」と思い出に残るゴールデンウィークになったようです。

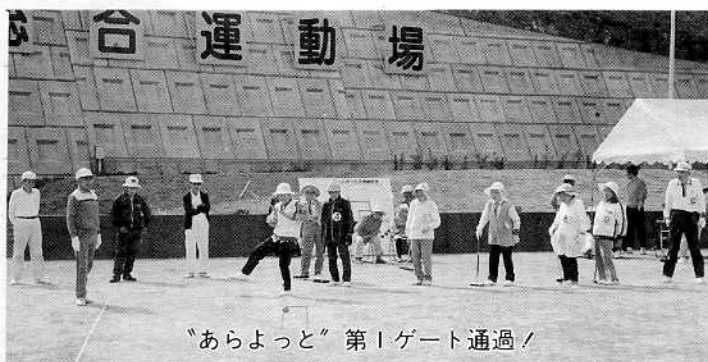
## 大会

実力伯仲!  
親ぼく深めたゲートボール

さわやかな好天に恵まれた、去る四月二十七日、総合運動場において「加子母村・東白川村老人クラブ親善ゲートボール大会」が行われ、二十四チーム、百六十人を超えるお年寄りのみならずが熱戦を繰り広げました。

両村の老人クラブ連合会が主催し、毎年一回行われているこの大会。今回で十四回を数えるという伝統あるもの。会場も両村順番に行われています。

今年は、東白川村が会場の年ということもあって「ぜひ優勝を」という期待はかかりました。が、常磐会Aチームが決勝まで勝ち進んだものの惜しくも加子母村下区チームに破れ、残念ながら優勝はなりません。普段の生活で何か目標を持つことは「ボケ防止」に大いに役立つとか。勝負には負けはしたものの新たな目標ができた大会となったのではないのでしょうか。



「あらよっ」と第1ゲート通過!



平成橋渡り初めより

## 今月の笑顔さん

# みんなが公園…のよつたふへーじ

「村民の皆さんへの恩返しのため」

派遣社会教育主事 田口 等

「先生、こんなところでなにやっといでるの。」  
「はあ、実は今度、こちらでお世話になることになった。」と、役場で出会う人に挨拶をしながら、もう一か月が過ぎました。

慣れないネクタイ姿もなんとか板についてきたのかと思っしていますが、座っていることこの多い仕事には、少々体重計が恐ろしい気がします。昼休みになると今までの習性から体がムズムズしてきて、サッカーがしたくなります。

中学校での八年間は、私にとっては、どれもこれも教師生活の中で最高の思い出ばかりでした。これも、すばらしい生徒たちとすばらしい地域の方々に巡り会えたからだと思います。中学校で八年もお世話になり、また教育委員会で三年お世話になることになり、東白川にいつまでもいられることを本当に幸せに思っています。ありがとうございます。

これからは村民の皆様へ恩返しのつもりで精一杯がんばりますので、よろしくお願ひいたします。

## お便り



田口 等先生



## 職場から

### 駐在所

「村の治安を守るため日夜大奮闘」。  
今月は、東白川村駐在所の小森邦広巡查部長をお訪ねしました。

など非常事態での出勤はもちろんですが、駐在のお仕事で大切なものに「巡回連絡」というものがあります。これは、「地域を知る」ことを目的に順不同に各家庭を訪問するものです。お尋ねになる内容は、主に家族構成など。「山村地域の駐在は、住民のみなさんを把握することが重要な仕事です。できれば時間をかけ全家庭をまわりたいと思っています。もしお訪ねしたときは、構えてもらわず気軽に世間話でもしていただくとありがたいですね」と小森部長。 「治安を守るため地域を知る」大切なお仕事です。



▶長谷川 紘一くん  
(正利さん・育子さん  
長男・大明神)



▶安江 純樹くん  
(雅人さん・洋子さん  
長男・下親田)



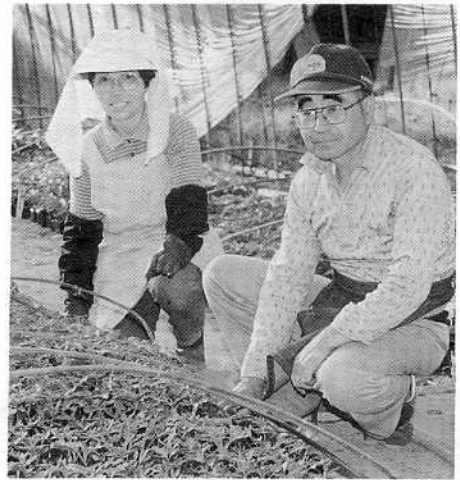
五月。早月、菖蒲月、新茶。昭和三十五年というと今から三十四年前、当時の我が村の茶園面積は十二ha、といっても田の石垣に生えた散在茶樹の換算面積でした。

藪の北側にとっても良い茶の木があつて、それを親木にして育てた新品種「ヤブキタ」を静岡から取り寄せ、白川茶の産地づくりに励んだ結果、今はちょうど十倍の百二十ha。

宇治、伊勢、近江、大和、静岡、茨城、輪島、狭山、阿波、土佐、壺野、八女、肥後、日向、薩摩、そして白川。全国の代表的な茶産地の一角を占め、その中の高級茶産地として知られるに至りました。

皐月、鯉のぼり、更衣、微暑、薫風、五月雨、新緑。

# 2 ツーショット 農夫婦



松岡 勝さん・美代子さん

「ゴールデンウィーク返上の忙しさ...」。

今月この『ツーショット』のコーナーでご紹介するのは、野菜の苗作りに大忙しの松岡勝さん、美代子さんご夫婦。

松岡さんのお宅では、ナス、トマト、ピーマンなど園芸野菜はもちろん、健康野菜のモロヘイヤなどやキヤベツ、白菜といった秋野菜にいたるまで年間約四万本の苗を育てています。

五月は出荷の時期。二ヶ月ころに種を蒔いて三〜四

月に鉢上げと接ぎ木を行います。特にこの五月と八月は、一年で一番忙しい時。

近所の皆さんに手伝いを頼んでいます。自分ところのナス栽培もあるし、これから

の時期は本当に大忙しです。苗は村内はもちろん、近いところでは、白川や加子母、遠くは名古屋市まで一部出荷しています。

「ゴールデンウィークはもちろん一年中休む暇がないほどですよ」と話してくれた農業に頑張るご夫婦のツーショットです。

## 今月のことば

料理は引き算ですよ、とにかく調味料を入れ過ぎないこと。みんな足し算してるのよ。もの素材をそれじゃ殺すんだわ。 阿部なを 料理研究家・NHK「きょうの料理」講師・82歳



## 集落めぐり

### 黒淵

集落のほぼ中心部にある、神秘的な淵、通称「黒淵」がその地名の由来とされている黒淵地区には、村の文化財の指定を受ける数種の信仰の習合として造立された「石造物群」や樹齢四〇〇年といわれる村の天然記念物「オオミガヤ」、村の木にも指定され、国の天然記念物となっている「ハナノキ自生地」などがあり村の文化財の宝庫です。この黒淵の穴沢地区に生息するといふ「穴沢どんびき」(どんびき)はカエルの俗称。アカガエル科のカエル「ふるさとのことば」より)は、その昔、薬効があるとされ、肉は子ども達の瘡の薬として焼いて食べたとか。これから水田作業の始まる季節を迎えると「待ってました」とばかりに大合唱のカエルたち。現在絶滅の危機にあるといわれる穴沢どんびき、いったいどんな鳴き声なのでしょう。

## 図書室発・あなたへ



「プロポーズはやめられない」 澤口たまみ 著

ミツバチの社会は、ただ一匹の女王蜂と数万匹の働き蜂となっている。ところが女王蜂と働き蜂が、いずれもメスであることは、あまり知られていない。その一生は、同じメスとは思えないほど違っているのである。

女性昆虫学者の著者が、私たちの恋愛事情をとおして、人間らしい賢い恋愛を考えるエッセイ集。

## ホットアンゲル



真紅の大優勝旗を返還したのは、昨年度優勝チーム飛龍クラブの土井宏治さん(柏本)。4月25日の東白川村軟式野球リーグ戦開会式でのひとコマ。昨年より1か月早く開幕した同リーグ戦。10チームが熱戦を繰り広げます。



▶大澤綾人くん (耕太郎さん・啓子さん 一男一平)



## 満1歳 わが家のスター

▶今井晶恒くん (英史さん・ちなつさん 男1大沢)

伐り倒す松は狙い違<sup>ちが</sup>うなく雪捲き起し山にひびかう

安江 香

出稼に行きたる吾子の頼もしく事なき日々を只祈るのみ

安江 化平

○釣り橋の踏み板少し朽ちたれどその木の板の音は優しき

今井 かな

○寛永通宝六枚と黍 麦の包物九十四年経し棟より出でたり

安江 澄

○今日父になりたる吾子を仰ぎ見る春の彼岸の青き満月

小池 弘子

健康に良いとし聴けば尋ね行く飛驒の馬瀬川美輝の温泉

安江 龍玉

○一束の土筆摘みきて卵とじに浸<sup>ひた</sup>すに夫々ふたりの昼餉

三戸 きり

たまさかの風邪に懸りて臥し居ればことに訝<sup>あや</sup>しけりカナリヤの声

田口 一枝

急勾配あえぎ登りし展望台樹々渡りくる風心地よし

安江 節子

風絶えて小波一つなき川面枝よき松と白雲映る

安江 とくよ

○雪残る石より石へ飛びて遊ぶ川ガラス一羽我に気づかず  
白梅に積みし弥生のぼたん雪指で払えば花びら見ゆる

小林 道子  
早瀬 久子

○ははそはの手渡しくれし小遣いの札ぬくみあり旅立つ朝を  
年毎に瘦せ行く土にも春来れば青く芽吹きりものの命は

安江 順子

朝陽さすガードレールの木の蔭の東にそれてはや草萌ゆる

荻田 清美

画家の子が八百津の文展最高賞を受けたりジーンと喜は湧く安江すみよ

安江 守平

古くより向かふ岸とのかけはしを果してくれた沢尻橋

若井のぶ

○母ならば如何に詠みしかかたくりの首かたむけて群れさく様を

田口 英子

白川の流れに添える集落の藁の中に吾が家を探がす

伊藤 美枝

ここ幾日政治家どもは明け暮れを権力に迷ふ果てなき荒野

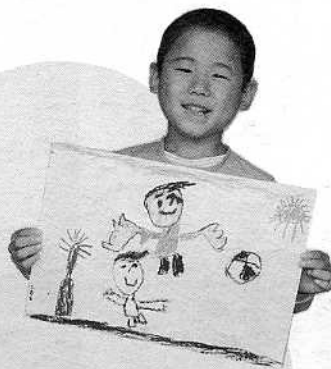
伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を  
歓迎します ●偶数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出して下さい。

# 発表の作品



▲「たのしいほいくえん」  
五加保育園 やすえゆいちゃん(柏本)



▲「たのしいほいくえん」  
五加保育園 ふるとおくん(久須見)



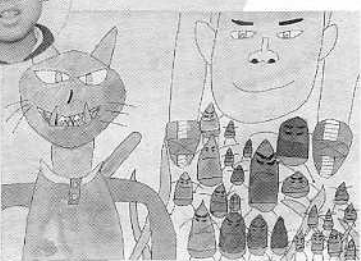
▲「ぶらんこにのって」  
東白川小学校1年生  
松澤まりなちゃん(平)



▲「ふしぎなくつ」  
東白川小学校3年生  
安保朋美さん(大沢)



▲東白川小学校5年生  
田口裕梨さん(神付)



▲「どんぐりと山ねこ」を読んで  
東白川小学校4年生  
安江芳栄さん(陰地)



昔から東白川村には、家庭で行う結婚式の最後に、「いけ茶」といって花嫁が招待客にお茶を出すときたりがあった。花嫁が婚家で行う最初の仕事である▼このしきたりルーツが最近になって分かってきた▼昨年暮れに放送されたNHK総合テレビ番組の「遥かなり煎茶への道」によると、中国広東省の山地民族瑤族の花嫁が油茶をふるまう習俗が日本に伝わったものだという▼直接伝えたのは隠元禅師で、煎茶の製法や喫茶法とともにこの習俗も伝えられたと思われる▼宮崎県諸塚村では、今でも結納の品としてお茶が贈られる。これには二度とは出ない安いお茶が用いられる。嫁いだ家から二度と出ないという縁起からである。そして、結婚式の最後は花嫁のお茶がふるまわれる▼製茶法や喫茶法とともにさらに全国に広まった中国瑤族の習俗「いけ茶」の習俗を後世に受け継ぎたいものと思う。(H)